

令和2年産「和歌山の花」販売促進会議

令和2年10月26日に和歌山市のJAビルにおいて、令和2年産「和歌山の花」販売促進会議を開催しました。本年は新型コロナウイルス感染予防のため、Webを活用した開催となりました。

会議には全国21社の花き市場の方を始め、県内JA・県農・県関係者が多数参加し、令和2年産県産花きの生産・販売・消費等について意見交換を行いました。



市場関係者はWebで参加
生産状況をビデオで紹介



主要花きの生育については、台風被害もなく、おおむね順調となっており、今後、計画的な出荷が見込まれます。

販売方針について、販売金額は前年比114%の46億円を目標とし「高品質出荷の励行」「予約相対取引の拡大」「情報交換の徹底」等に取り組みます。また、消費拡大対策として、「和歌山フェアの開催」に加え、「花のある暮らし」の定着に向け家庭需要を喚起する「ENJOYHOMEwithFLOWERS」に取り組みます。

市場からは、Webを通じて「イベント需要は厳しいが、仏花などの家庭需要は十分期待できる」「しっかりと販売するので心配しないで生産出荷に取り組んでほしい」など多数のご意見をいただきました。

コロナ下の厳しい状況ではありますが、情報交換を密に行って、令和2年産「和歌山の花」の有利販売に努めて参ります。(県農野菜花き販売課)